



町内会活動のすすめ

住みよい地域づくりはここから

町内会は、誰もが安心して暮らせる地域をつくるため、日々さまざまな取り組みを進めています。町内会の参加を通してご近所同士のつながりを深め、できることから始めてみませんか。

問い合わせ 市民活動課（市庁舎3階、☎65・4130）

ライフスタイルや人と人とのつながり方が多様化する中で、身近な地域の人間関係が、希薄になってきたと言われています。

しかし、安全・安心で豊かな暮らしを営むためには、隣近所との顔の見える関係づくりが大切です。

多くの人の暮らしの身近な支え

町内会は、住民が互いに支え合い、助け合いながら、住みよい地域をつくる目的で組織された任意団体です。

町内会はあなたを待っています



帯広市町内会連合会
会長 古澤 慎二 さん

新型コロナウイルス感染症の発生から早3年が経ち、活動も大分復活してきました。

町内会は、安全・安心で住み良いまちづくりを目指して、日々努力しています。

少子高齢化や生活環境の変化で課題もありますが、個人では対応が難しい環境美化、防犯、防災などの問題も増えており、身近なコミュニティである町内会はその受け皿となっています。

町内会には現役の人、経験豊富なシニアなど多彩な人たちがおり、それぞれが持つ知識や能力が発揮できる場所でもあります。

皆さんも、私たちと力を合わせ、より住み良いまちづくりを目指して一緒に活動しませんか。

町内会はいつでもあなたを待っています。

現在、市内には757（令和5年2月末現在）の町内会があり、

日常生活に関わる、さまざまな活動に取り組んでいます。

例えば、生活道路などを照らす防犯灯やごみステーションの維持管理、子どもたちの登下校時の見守り、災害に備えた自主防災活動、広報おびひろの配布、清掃活動、親睦・交流行事の開催など、多岐にわたって活動しています。

誰もが参加できる仕組みづくり

災害時など、いざというときに助け合え、重要な力となるのは町内会であり、その役割は今後も大切です。

しかし、人手不足や高齢化などの担い手不足を背景に、行事の参加者や会費の確保が難しくなるなど、運営に苦慮する町内会が増えています。

これからの持続的な活動ができるよう、運営のあり方を見直し、子育てや仕事で忙しい人など、若い世代が参加しやすいよう工夫している町内会もあります。例えば、①任期の短い輪番制の導入、②SNSを活用した会議や情報共有の簡略化、③行事などに参加できない人向けの会員制度（準会員）創設、④複数のイベントを1日にまとめて開催するなどの取り組みを行っています。

これらの取り組み以外にも、従来の事業の省力化など、次の世代へ町内会をつないでいくため、誰もが気軽に参加できる仕組みづくりを進めています。



町内会について▶



町内会への加入申し込み▶

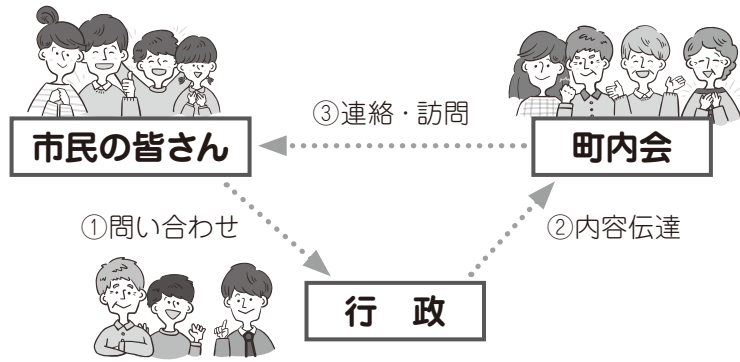
町内会への参加や活動の相談するには？

市では、市民の町内会加入を促進するため、市外から転入した人、市内で転居した人、現在までに町内会に未加入の人などを対象に、町内会役員との連絡を仲介するなどのサポートを行っています。

「加入したいが、町内会長の連絡先が分からない」「加入を検討するために、会費などの町内会のルールや、ごみステーションの場所を確認したい」などの相談は、市民活動課へ問い合わせるか、右上の二次元コードを読み取り、必要事項を入力の上、送信してください。

住んで良かったと実感できる地域をつくるには、皆さん一人ひとりの力が必要です。町内会の意義を改めて理解し、できることから参加してみませんか。

町内会加入に関わる市のサポート



町内会が取り組んでいる活動内容を紹介します！

防災

- 防災訓練の実施
- 防災マップの作成
- 防災用品の備蓄



環境・美化

- ごみステーションの設置・管理
- 資源集団回収
- 公園や植樹の清掃・管理



防犯・交通安全

- 防犯灯の設置・管理
- 防犯・交通安全パトロール
- 通学路における子どもの見守り



親睦・交流

- 各種親睦行事の実施（お祭り、盆踊り、花見、観楓会、運動会、パークゴルフ大会など）
- 高齢者サロンの開設



福祉

- 子ども会活動
- 老人会活動
- 独居高齢者の見守り
- 除雪困難者宅前の除雪活動



情報の伝達

- 広報おびひろの配布
- 町内会だよりの作成
- チラシ配布などによる情報共有

